東京藝術大学

第６ホール竣工記念演奏会

日付	開場・開演	公演	招待
4.26 (土)	ラウンドテーブル・トーク 15:00開始 16:00 開演	作曲科＋楽理科＋演奏藝術センター 作曲家 尹伊桑　室内楽曲の夕べ	限定100名様 ご招待
4.27 (日)	14:30開場 15:00 開演	古楽科 趣味の融合 Les Goûts-Réunis 〜古楽の楽しみ〜	限定50名様 ご招待
4.28 (月)	18:30開場 19:00 開演	ピアノ科＋弦楽科 ピアノと弦楽のハーモニー	限定50名様 ご招待
4.29 (火)	14:30開場 15:00 開演	邦楽科 邦楽科 柿葺落公演	限定50名様 ご招待
4.30 (水)	18:30開場 19:00 開演	管打楽科 春の饗宴 〜Winds are singing, percussions are dancing !〜	限定50名様 ご招待
5.1 (木)	18:30開場 19:00 開演	声楽科 〜愛しき歌〜	限定50名様 ご招待
5.2 (金)	18:30開場 19:00 開演	指揮科 弦楽合奏とオーケストラの響き	限定50名様 ご招待

お申し込み方法

下記の要領で往復ハガキにてお申し込みください。
なお、申し込みが規定の人数を超える場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。

お申し込み締切日：2014年4月15日（火）必着　　返信ハガキ発送予定日：2014年4月18日（金）

申し込み往復ハガキ記入例

往信側
52
110-8714
東京都 台東区 上野公園 12-8
東京藝術大学
演奏藝術センター
「第6ホール竣工記念演奏会」係

返信側
※返信側には
何も記入しないでください

返信側
52
□□□-□□□□
送り先をご記入ください

往信側
① ご希望の公演日 (1公演)
② 郵便番号とご住所
③ お名前 (ふりがな記入)
④ 電話番号 (ご連絡のとれる番号)

注）往復ハガキ1枚での複数公演のお申し込みはできませんので、ご了承ください。往復ハガキ1枚あたり、1公演1名様のご応募とさせていただきます。

東京藝術大学 第6ホール［音楽学部構内］

〒110-8714　東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

- JR上野駅（公園口）・鶯谷駅（南口）、東京メトロ千代田線根津駅 より　徒歩10分
- 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅 より　徒歩15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」 2 上野駅・上野公園 から（東京芸術大学経由）
  5-1 東京芸術大学下車［30分間隔］

※ 駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
※ 就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
※ スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

DESIGNED by Fumihide MIYAMOTO

東京藝術大学

第６ホール 竣工記念演奏会

2014.4.26-5.2

入場無料

要整理券

往復ハガキでお申し込みください

最終ページを参照の上、4月15日（火）必着でお申し込み願います。申し込みが規定の人数を超える場合は、厳正なる抽選の上、発送をもってご連絡させていただきます。

東京藝術大学 第6ホール［音楽学部構内］

お問い合わせ　東京藝術大学演奏藝術センター　050-5525-2300　東京藝術大学ホームページ　http://www.geidai.ac.jp

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

主催　東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏藝術センター

東京藝術大学

第６ホール竣工記念演奏会

2014.4.26-5.2 ［全7公演］

合計４００名様をご招待いたします

往復ハガキでお申し込みください（最終ページ参照）

東京藝術大学 第6ホール［音楽学部構内］

東京藝術大学

作曲科＋楽理科＋演奏藝術センター

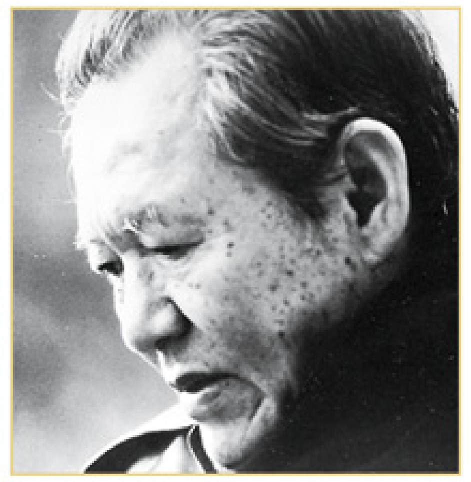
作曲家 尹伊桑　室内楽曲の夕べ

4.26 土

ラウンドテーブル・トーク 15:00 開始
16：00 開演［14：30 開場］
限定１００名様 ご招待

① ラウンドテーブル・トーク「尹伊桑の遺したもの」
② オーボエとクラリネットとファゴットのための《ロンデル》
③ チェロとピアノのための《エスパスⅠ》 ④ ヴァイオリンとピアノのための《ガザ》
⑤ ソプラノと室内楽のための《夜よひらけ》

【パネリスト】①漆原朝子（弦楽科准教授）、鈴木純明（作曲科准教授）、古川聖（美術学部先端芸術表現科教授）、沼野雄司（音楽学・桐朋学園大学教授）【司会】福中冬子（楽理科准教授）【出演】②⑤オーボエ：戸田智子、クラリネット：下路詞子、ファゴット：柿沼麻美　③チェロ：中木健二（弦楽科准教授）、ピアノ：ローラン・テシュネ（ソルフェージュ科教授）④ヴァイオリン：漆原朝子（弦楽科准教授）ピアノ：坂井千春（ピアノ科准教授）⑤ソプラノ：菅英美子（声楽科准教授）、指揮：湯浅卓雄（演奏藝術センター教授）、フルート：満丸彬人、ホルン：木村睦美、1stヴァイオリン：石田紗樹、2ndヴァイオリン：清水公望、ヴィオラ：樹神有紀、チェロ：田辺純一、コントラバス：本山耀佑　他



…イサン・ユン（尹伊桑）氏の創作は、韓国の伝統音楽のみならずアジア的美学と、ヨーロッパにおける第二次世界大戦後の前衛音楽の影響のうえに、新たな音楽創造を行ったものです。またアジア出身の作曲家として高い国際的評価を受けるのみならず、ベルリン芸術大学教授として、細川俊夫氏や松下功氏らをはじめとする多くの日本人作曲家を指導した功績は特筆されるものです。イサン・ユン氏は戦前の東京で、戦後の藝大作曲科で指導的役割を果たした、元音楽学部長でもあった池内友次郎先生の薫陶を受けたこともあるように、日本の作曲界とも深い関係がある作曲家です。今回、イサン・ユン氏を特集する演奏会が企画されることは、大変意義深いことと考えます。（作曲科主任教授　小鍛冶邦隆）

…朝鮮に生まれ、日本、フランス、ドイツで作曲を学び、その創作生涯の大部分をドイツで過ごしたイサン・ユン（1917〜1995）は、第二次大戦後、音楽創作・受容を巡る情報の往来が活発化し、外国への行き来も容易になるなかで、「非西洋国」の音楽家たちが西洋音楽の遺産に向き合い、それとの自己同一化を試みる中で避ける事の出来なかったいくつかの本質的な問い——「伝統」や「創作様式」や「技法」を巡る問い——に、独自の答えを見出した作曲家です。本日のプログラムでは、尹作品が21世紀の今我々に語るものを再確認するラウンドテーブル・トーク（前半）、〈作曲家 尹伊桑　室内楽曲の夕べ〉と題した演奏会（後半）を通じて、イサン・ユンの音楽思想を振り返ります。（楽理科准教授　福中冬子）

古楽科

趣味の融合　Les Goûts-Réunis　〜 古楽の楽しみ 〜

4.27 日

15：00 開演［14：30 開場］
限定５０名様 ご招待

① T.メールラ：チャコーナのアリア《恋のリラにのせて》
② G.フレスコバルディ：『音楽の花束』より
③ F.クープラン：ルソン・ド・テネーブルより第２ルソン ④ M.マレ：『ヴィオール曲集』より
⑤ J.S.バッハ：シャコンヌ（チェンバロソロ）他

【出演】①-④ソプラノ：野々下由香里（古楽科教授）①-⑤チェンバロ&ポジティフオルガン&クラヴィコード：大塚直哉（古楽科准教授）①-④ヴィオラ・ダ・ガンバ：福澤宏（古楽科非常勤講師）

…17〜18世紀前半のいわゆるバロック音楽の時代、常に時代をリードするイタリア、またその大きな影響を受けつつも独自の美しさを守り続けたフランス、また伊仏両者のいいところ取りを狙ったテレマンやバッハらのドイツ・・・拮抗したり融和しながら咲き誇ったさまざまな音楽上の「趣味 goût」を花束にしてお届けします。初めて聴くのにどこかなつかしい、古楽の温かい響きでどうぞ。

ピアノ科＋弦楽科

ピアノと弦楽のハーモニー

4.28 月

19：00 開演［18：30 開場］
限定５０名様 ご招待

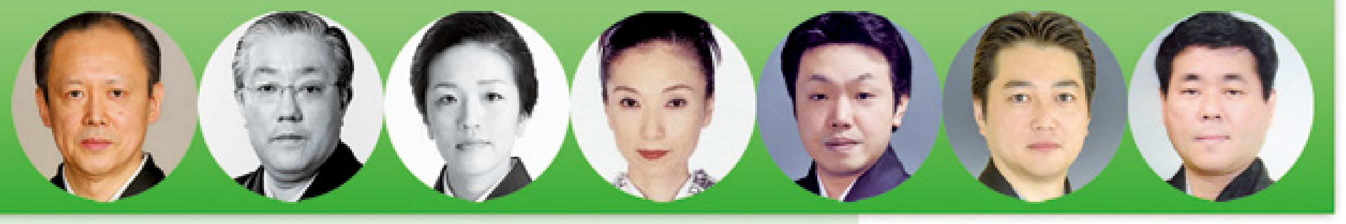
① ベートーヴェン：《ピアノ三重奏曲第１番》変ホ長調 Op.1,No.1
② ドヴォルジャーク：《ピアノ五重奏曲》イ長調 Op.81,B.155

【出演】①ピアノ：植田克己（ピアノ科教授）、ヴァイオリン：漆原朝子（弦楽科准教授）、チェロ：中木健二（弦楽科准教授）②ピアノ：青柳晋（ピアノ科准教授）、1stヴァイオリン：澤和樹（弦楽科教授・指揮科教授・音楽学部長）、2ndヴァイオリン：玉井菜採（弦楽科准教授）ヴィオラ：川﨑和憲（弦楽科教授）、チェロ：河野文昭（弦楽科教授）

…第6ホール及び4号館が完成した時、ちょうどそれは私たちの学生世代でした。今から三十数年前の話です。それ以来様々な試験や演奏会の重要な会場として使われてきました。特に弦楽科の学生にとっては入試に始まり弦楽合奏、室内楽、修士リサイタルなど最もなじみのあるホールです。この度その第６ホールが新しいホールとして生まれ変わります。その歴史的転換点でこうした演奏会を開くことが出来ることは大変光栄に思っています。今回はピアノ科の協力を得てベートーヴェンとドヴォルジャークの名曲２曲を演奏します。ピアノと弦楽器の溶け合う豊かなハーモニーを第６ホールの優れた音響と共にお楽しみいただければと思います。（弦楽専攻主任教授 川﨑和憲）

邦楽科

邦楽科 杮葺落公演



4.29 火

15：00 開演［14：30 開場］
限定５０名様 ご招待

① 能楽観世流 仕舞「高砂」 ② 箏曲山田流「七福神」 ③ 雅楽「越殿楽」
④ 箏曲生田流・尺八琴古流「尾上の松」 ⑤ 長唄・日本舞踊・邦楽囃子「操三番叟」

【出演】①シテ：関根知孝（邦楽科教授）、地謡：髙梨万里、馬場加奈子、関根祥丸、山中景晶②浄瑠璃：萩岡松韻（邦楽科教授）、渡辺君子、萩岡未貴 萩岡信乃、三絃：大間道敬、箏歌：佐々木由記子、太田聡子、大谷真為、岩崎瑶子、三絃：田中奈央人、太鼓：高森由彦、大鼓：植松喜三郎 小鼓：盧慶順（邦楽科准教授）、山口晃太郎、笛：吉田善男③未定④箏：福永千恵子、下平波留美、村田章子、帯名久仁子、三絃：吉川さとみ（邦楽科准教授）佐野奈三江、藤井泰和、平野裕子、大嶋礼子、尺八：青木彰時⑤立方：露木雅弥（邦楽科准教授）、唄：味見純（邦楽科准教授）、小林百合、横山沙永子 相澤早紀、小島英裕、三味線：小島直文（邦楽科准教授）、関口奈々恵、田井藍古、布施田千郁、若和田史弥、笛：吉田善男、石森裕也 小鼓：盧慶順（邦楽科准教授）、島村聖香、山口晃太朗、大鼓：植松喜三郎、太鼓：高森由彦、囃子：小野里元栄、山田夏実

…この度、第6ホールがめでたく竣工を迎え、邦楽の響きにもあったホールが誕生しましたこと、誠に喜ばしく存じます。かねてより念願でございました所作台に花道も完備され、数々の舞踊曲も正式なスタイルで演奏することが可能となりました。また新たに幕もつけて頂き、これからの演奏会のことなどを考えますと、様々な可能性が広がるホールとなりましたこと、大変ありがたく存じております。震災の復興の最中、諸々の事情がありましたが、ここまで素晴らしいホールが完成致しましたのも、関係の皆様の大変なご苦労、ご尽力があってこそと思います。改装に携わってくださいました先生方、スタッフの皆様に心より厚く御礼を申し上げます。このちは邦楽公演はもちろんのこと、器楽科や声楽科との合同演奏、アジア諸国の音楽とのコラボレーションなど、ホールの機能を最大限に活かした催しが出来ますことを願っております。今回は「杮葺落公演」の名に相応しい、邦楽科各専攻の御祝儀曲を番組と致しました。お楽しみ頂けましたら幸いでございます。

管打楽科

春の饗宴 〜Winds are singing, percussions are dancing !〜

4.30 水

19：00 開演［18：30 開場］
限定５０名様 ご招待

① ニコラ・シェドヴィル：《忠実な羊飼い》
② I.ゴードン&H.アーレン：《イッツ・アン・アンフォゲッタブル・ムーン》
③ エンニオ・モリコーネ：《ニュー・シネマ・パラダイス》
④ エドガー・ヴァレーズ：《イオニザシオン》
⑤ H.パーセル：《トランペットチューン&エアー》 ⑥ 津村芳伯：《ひえつき節ラプソディー》
⑦ アイルランド民謡：《ロンドンデリーの歌》
⑧ ゴードン・ラングフォード：《ロンドンの小景》

【出演】①-③フルート：高木綾子（管打楽科准教授）、サックス：須川展也（管打楽科准教授）、ピアノ：羽石道代④パーカッション：藤本隆文（管打楽科教授）、井上仁美、永野雅晴、秋生智之、石若駿、樋口さゆり、日比彩湖、金井麻里、桜井愛姫、廣政志、沓名大地 竹内美乃莉、山元俊幸⑤-⑧トランペット：栃本浩規（管打楽科准教授）、松山萌、金丸響子、重井吉彦、ホルン：日高剛（管打楽科准教授）トロンボーン：古賀慎治（管打楽科准教授）、鈴木真実、松永遼、バス・トロンボーン：鈴木崇弘、テューバ：田村優弥

…管打楽科は、木管楽器5専攻、金管楽器4専攻、そして打楽器の10専攻で成り立っています。第6ホールは管打楽科にとっても思い入れのあるホールで、必修科目『吹奏楽』をはじめ、オーケストラの授業、室内楽、試験での演奏と、年間を通してこのホールを利用し音を育んできました。慣れ親しんだ第6ホールがリニューアルされ、どのような姿を見せてくれるのか、どのような響きをもたらしてくれるのか、一同期待に胸を膨らませて待ちに待った本日の演奏会。プログラムは前半が木管楽器中心、打楽器をはさんで後半は金管楽器と、管打楽科の教員と学生によるアンサンブルでお届けいたします。

声楽科

〜 愛しき歌 〜

5.1 木

19：00 開演［18：30 開場］
限定５０名様 ご招待

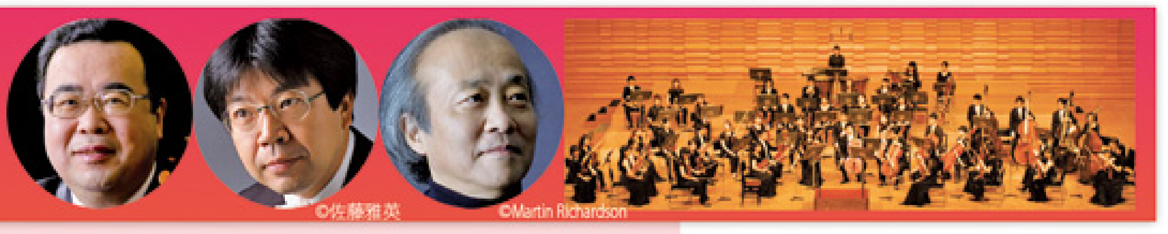
① R.シュトラウス：《あすの朝》 木下牧子：《竹とんぼに》《うぐいす》 ② ロッシーニ：《メサイア》より ③ 武満徹：《小さな空》 グリエール：《コロラトゥーラ・コンチェルト》第2楽章 ④ ブラームス：《5月の夜》《永遠の愛》⑦《愛の歌》より ⑤ モーツァルト：《ドン・ジョバンニ》より　中田喜直：《木菟》⑥ R.シュトルツ：《プラター公園の春》 コールマン：《チャルダッシュの女王》より ⑧ シューマン：《流浪の民》 他

【出演】①⑦⑧ソプラノ：平松英子（声楽科教授）②⑦⑧テノール：櫻田亮（声楽科准教授）③⑦⑧ソプラノ：菅英三子（声楽科准教授）④⑦⑧メゾソプラノ：寺谷千枝子（声楽科教授）⑤⑦⑧バリトン：勝部太（声楽科教授）⑥⑧ソプラノ：佐々木典子（声楽科教授）⑦ピアノ：奥千歌子（声楽科非常勤講師）①③⑤⑦高木由雅（声楽科非常勤講師）②④⑥千葉かほる（声楽科非常勤講師）【助演】⑦アルト：花房英里子⑦⑧テノール：田口昌範⑦⑧バリトン：関口直仁

…これまで第6ホールは、沢山の素晴らしい演奏会、学生の試験などでフルに活躍され、長年に渡り、人々の感動と思い出に貢献してきました。そして今、第6ホールは多くの人々の手によって新しく生まれ変わり、未来へ向け、新たな感動を生み出していくべく、期待と希望に輝いています。声楽科からは、竣工記念演奏会にむけ、愛と春をテーマに、各教員の思い入れのある素敵なソロの曲と、美しい重唱の作品を選曲しました。この5月の夜、この新しいホールの美しい響きを堪能し、竣工の喜びを皆様と分かち合いたいと思います。

指揮科

弦楽合奏とオーケストラの響き



5.2 金

19：00 開演［18：30 開場］
限定５０名様 ご招待

① エルガー：《序奏とアレグロ》Op.47
② チャイコフスキー：《弦楽セレナーデ》ハ長調 Op.48
③ エルガー：《威風堂々第１番》ニ長調 Op.39
④ シベリウス: 交響詩《フィンランディア》Op.26

【出演】指揮：①澤和樹（指揮科教授・弦楽科教授・音楽学部長）②高関健（指揮科招聘教授）③④尾高忠明（指揮科教授）①-④東京藝大シンフォニーオーケストラ

…毎週火曜の午前と木曜午後に行われる学生オーケストラの授業のほとんどは、第6ホールで行われ、奏楽堂で行われる定期演奏会やプロムナードコンサート、学外での様々な発表演奏会に向けての音作りの工房となります。新しく生まれ変わった第6ホールでの記念演奏会（指揮科担当）の幕開けは、エルガーの《序奏とアレグロ》です。この曲は、2012年11月14日（水）、4号館の改修工事を目前に控えた旧第6ホールでの最後の演奏会の一つとなった、当時の弦楽科1年生による「弦楽ミニコンサート」で演奏された曲です。木質のぬくもりのある旧第6ホールの響きを凌ぐ魅力的な音響を、これから始まる演奏会やリハーサル、試験での演奏を重ねることによって、音楽学部の新たな歴史とともに醸成していきたいと思います。